

テーマ：日本の外国人留学生政策と奨学金制度

第3回のワンアジア財団国際講座は、暨南国際大学国際文教と比較教育学科の楊武勳特別招聘教授がご担当になった。特に今回はカンボジアにご出向にも関わらず、本学のためにご帰国になり、本学にご来臨いただき、受講諸君のために日本留学関係情報をお話しいただいたことに感謝申し上げたい。楊先生の今回の講座内容が将来の日本留学生のために有益であることを確信する。

楊先生は先ず国際化とグローバル化の角度から、学生諸君を励まし、将来の計画を台湾という場に制限すべきではなく、学生各自が国際観と外国語能力とを育成することを望んだ。そして、楊先生はご自身が学生時代に英語を主に修得し、同時に日本語学習も選択した経験を語り、その後もベトナム語と韓国語とカンボジア語を加えて学習したことを述べた。楊先生は留学が自己の成長において最も有効な機会であることを認め、これにより、(1)なぜ日本に留学するのか、(2)日本における外国人留学生政策、(3)日本の留学生奨学金制度などの3点をご自身の留学経験を踏まえて述べて、学生たちに如何に日本の留学生奨学金を取得する秘訣を伝授した。

楊先生も皆と同じように留学の意味を考え、彼は国家に対しては、外国留学による文化交流の促進や外国事務に詳しい人材の育成、そして国際競争力の向上を伝え、社会に対しては、文化交流と社会での多元的価値観の効用を兼ねられると伝え、大学に対しては、大学の国際化が向上し、学生の進路が増え、同時に次世代の専門研究者の育成も図れると伝え、個人には、社会的地位の向上と国際的視野の開拓と展開、そして生命の豊かさを示し、また自身を専門的な「国際人材」的能力を備えた者に成さしめることになる、と述べた。

楊先生が特に詳説したのは日本の留学生奨学金に関する情報である。日本は1954年に「国費留学生」を設立し、1984年に「外国人留学生10万人計画」、その後、2008年に「外国人留学生30万人計画」が始まった。「留学生10万人計画」は日本の文化性を発揮させることが主要な目的で、外国人の日本への留学を促すために奨学金を提供したのである。「留学生30万人計画」の主要目的は優秀な留学生の就職のためであり、一連の措置として「産官学連携継続協力」も実施された。これによって、現在の日本の外国人留学生政策は「優秀な人材(留学生)」が日本で就業し在住することを積極的に支持した。統計資料に

扱れば、日本在住の外国人学生の64%が日本に在留して就業することを望み、就労ビザ申請の通過率も高く、中でも2015年に実際に日本に在留した就業者が約35%で、日本政府は今後の目標を50%にまで上昇させることを希望し、これは二名の留学生のうち一人は卒業後、日本で就業することを意味している。このほか、日本の外国人留学生政策では、アジアの「儒教圏」国籍の学生が多く居住し、東南アジア国家の人数も数多く、「リージョナル化」の色彩を明らかにしており、「人文系」の分野の人数が「理工系」の分野よりも多く、奨学金は「国際援助」の色彩を持つ点などに特徴がある。

日本の奨学金制度に関して、楊先生は「留学前」に申請することもできて、日本留学奨学金の受験には中華民国教育部（文科省）公費留学奨学金や公益財団法人日本台湾交流協会（長期、短期）奨学金や、その他の国内外の財団法人（例えば松下財団（理工系に限る））が奨学金を提供しているし、その他の「短期奨学金」（例えば、(1)學海飛颺、學海築夢（教育部）、(2)學海惜珠（教育部）、(3)日本台湾交流協会（日本学生支援機構）短期交換生奨学金）などがある。

「留学中」も奨学金の申請は可能であり、(1)日本台湾交流協会の「国内採用」、(2)扶輪社奨学金、(3)渥美財団奨学金、(4)松下研究助成金、(5)日本学術振興会等奨学金がある。「留學後」は、(1)日本台湾交流協会「帰国外国人留学生短期研究制度」、(2)日本学術振興会外国人特別研究員、(3)扶輪社交換教授助成金、(4)住友財団研究助成金、(5)日本国際交流基金など様々な選択が可能である。

前述のように奨学金を獲得すれば、楊先生は「留学前」の準備、「留学中」の適応、「留學後」の嗜好など三つの場面により、個人経験を伝授した。最後に皆に「夢があることは最も美しいこと！」と励まし、目標を以て、夢を計画して、同時に自身を「グローバルな移動力」で育成すれば、いつでも「三種類の言語」（少なくとも二種の外国語）を掌握し、自らをして「国際的人材」と成さしめることができる。国家には留學生が「国際的人材」として貢献し、才能は、更に多くの発展的空間を擁することができるようになるだろう、と述べた。

(Web サイト連結: <https://oneasia.pccu.edu.tw/faculty.php>)

(原稿: 蔡珮菁・日文系副教授)

(翻訳: 齋藤正志・日文系副教授)